

令和2年度 生涯学習関連事業評価 『分析結果』

1.全 129 件のうち、60 件(47%)の事業が「評価なし」なぜか

- (1) 現行の生涯学習プランを作成時、評価方法も含め検討し、A から D のほか台風や感染症など不可抗力によるものは、“評価なし”を設定した。
- (2) このプランでの評価にあたっては、当初プランの施策の目指す方向性や事業目的に照らし、単年度だけの評価を見るのではなく、同じ尺度で経過を見続け、中間で振り返り、最後に総括し次に活かしていこうと考えた。
この1年間を振り返ると、審議会からの意見もあるようにウィズコロナ・ポストコロナ社会を見据え、事業目的の再定義や新たな方法を見出すことなど整理していくことが必要である
- (3) 「評価なし」60件の内容は、「新型コロナウイルスの影響」を受け、全面中止・延期が49件(82%)と大半をしめる結果となっている。
- (4) これは、緊急事態装置が令和2年4月7日に発令され、年間を通して継続的に行うものや上半期に行うものが71%、規模で101人以上が76%、参加型・体験型で61%、1回だけの単回のもものが63%となっており、開催の時期や規模、イベントの形態等が起因し、また、直接会って触れ合い、交流する要素が多い。なお、「評価なし」としながらも、その設定した目標値に届くよう、シミュレーションや出来る方法を探るなど次年度につながるよう課題を整理している。

2. クロス集計分析結果見える対策」について

八王子まつりや夢街道駅伝など大規模で代替や新たな手法を見出すことが難しいものもあるが、実施形態（市・共催・委託）や対象者（高齢者・子ども・大人など）、分野などクロス集計すると、対面とオンライン活用を前提としたハイブリッドが求められ、オンライン・対面のお互いの良いところ、又は、弱点を補完して、事業計画・事業目的・成果を整理して次に活かしていくことが重要である。

(1)A 評価9件を「実施形態」から見ると、(A評価9件・B評価44件・C評価16件・評価なし60件)

- ・市単独:5件 NO.50 家庭教育啓発リーフレット等の配布
NO.27 図書館おすすめの“ぶっくぱっく” 司書が選んだ5冊程貸出
NO.129 図書館 ICT の活用 電子書籍の拡充、ホームページ等による
情報発信の充実を図る。
- ・共 催:3件 NO.60 家庭教育支援講座「星とおひさま(フィーカ)キャラバン」
- ・委 託:1件 NO.34 社会人の学び直しの支援(リカレント教育)アプリ開発

【分析結果】

ICT・ネットを前提・活用とした事業で、「実施形態」というより事業の実施目的・内容

(2)A 評価9件を「種類」から見ると、(A評価9件・B評価44件・C評価16件・評価なし60件)

- ・講座・教室:3件 NO.57 放課後子ども教室と学童保育所との連携拡大
NO.60 家庭教育支援講座「星とおひさま(フィーカ)キャラバン」
- ・情報提供:2件 NO.28 新たな読書空間“パークライブラリー”
NO.34 社会人の学び直しの支援(リカレント教育)
- ・そ の 他:4件 NO.27 図書館おすすめの“ぶっくぱっく” 司書が選んだ5冊程貸出

(3)評価なし60件を「種類別」に見ると、(A評価9件・B評価44件・C評価16件・評価なし60件)

- ・イベント等:30件、・講座・教室:25件で 併せて92%、その他5件
- ・情報提供・環境整備:0件

【分析結果】

イベント事業は人数規模が大きく、体験・参加型で不特定多数になる事業が多いため、中止・延期に至ったと考えられる。講座・教室事業については、(オンラインに変更しての実施が可能だが)、講座募集時期が4~6月のものが多く、その期間は

初めての緊急事態措置（令和2年4月7日～5月25日）だったこともある。

また、年間を通して継続的に行うものや上半期に行うものが71%、規模で10人以上が76%、参加型・体験型で61%、1回だけの単回のもものが63%で、例えば、八王子まつり（N0.83補助事業）やフラワーフェスティバル由木（N0.85補助事業）で、年1回で大規模な事業で代替が難しい。

(4)評価なし60件を「分野別」に見ると、(A評価9件・B評価44件・C評価16件・評価なし60件)

- ・ 趣味的なもの：9件中7件、・ 社会貢献活動：21件中16件
- ・ 健康・スポーツ：15件中10件
- ・ 教養的なもの：34件中13件、育児・教育：25件中7件
- ・ 社会問題・市民生活に関するもの：17件中5件で、3割程度に抑えられている。
- ・ その他：8件中2件

【分析結果】

趣味的なもの、健康スポーツ事業は、人数規模が大きく、体験・参加型が多いため、中止・延期に至ったと思われる。社会貢献活動事業（障害者文化展、学生天国、ボランティア養成講座等）は、人数規模があり、かつ屋内での事業が多いため、3密を避けられなかった事業が多かった。対面で交流事業の要素が大きい。

(5)評価なし60件を「実施形態」別に見ると、(A評価9件・B評価44件・C評価16件・評価なし60件)

- ・ 実行委員会：9件中8件、補助18件中：11件、指定管理者：10件中6件、
- ・ 委託：24件中11件、共催：22件中9件
- ・ 市単独46件中15件は、最も少なく3割となっている。

【分析結果】

実行委員会事業（夢街道駅伝）と補助事業（八王子まつり）は、人数規模が大きく、体験・参加型事業の割合が多く、代替が難しく中止・延期になったと思われる。また、129件中、市単独事業46件で、様々な大・中・小事業を実施しており、時期や会場、内容、人数が比較的小さいものも多く開催し、柔軟に対応ができるため、中止・延期となった事業が3割に抑えられたと考えられる。

(6)C 評価16件を「実施形態」から見ると、(A 評価 9 件・B 評価 44 件・C 評価 16 件・評価なし 60 件)

- ・補助：3 件 NO.115 市民センターだよりの発行
- ・委託：5 件 NO.75 エコひろばでの環境教育
- ・市単独：8 件 NO.8 ジュニア育成事業 など

(7)「改善・見直しの実施」26件を「実施形態」で見ると、改善・見直しの実施 26 件・取組の継続 96 件・廃止休止 7 件

- ・市単独 46 件中 10 件、共催 22 件中 6 件、実行委員会 9 件中 3 件、その他 7 件。

「青少年海外交流」(No.13)「スポーツ教室」などコロナ禍を前提にオンラインの活用を図る

(8)「取組の継続」96件を「実施形態」で見ると、改善・見直しの実施 26 件・取組の継続 96 件・廃止休止 7 件

- ・市単独 46 件中 33 件、指定管理者 10 件中 9 件、委託 24 件中 19 件、
- ・共催 22 件中 16 件、補助 18 件中 13 件、その他 6 件。

「自然体験・自然観察会」(No.1)「出張体験講座」(No.2)「子育てひろば」(No.58)など複数回実施している事業であるが 1 回で完結する事業や、人数を絞ったり、利用時間を設けたり、オンラインを取り入れ継続的に実施していく。

(9)「改善・見直しの実施」26件を「対象者」で見ると、改善・見直しの実施 26 件・取組の継続 96 件・廃止休止 7 件

- ・どなたでも 61 件中 11 件、子ども 22 件中 8 件、親子・保護者 7 件中 3 件
その他 4 件。

子どもを対象とした事業「北海道白糠町小学生交流事業」「赤ちゃんふれあい事業」などの割合が高い。安全・健康を第一とした。